

スコッチウイスキー産地別(1) スペイサイド

華やかでエレガント～最大の産地



スコッチウイスキー6大産地の中で生産量が最大で、かつ、気品のある豊かな味わいを誇ります。全長160Kmのスペイ川流域の緑豊かな場所にあります。密造時代に醸造所が人里離れて作られた名残です。もともとはハイランドの一部でしたが、現在は独立した地域と認識されています。スペイサイドの7つの地区から代表的なシングルモルトを選びました。

スペイサイド各地区のウイスキー お好きだけ
会費:2500円 (おつまみ付き・飲み方は自由)

6月14日(木)、21日(木)、22(金) 他の日も応相談
17:00 - 20:00 事前連絡歓迎 於: Café & Bar 朝堂院

エルギン地区

グレンマレイ
エルギンはスペイサイド地方に相当するスコットランドの地方自治体マレイの首府で中心地。地域に根差す名称を担った逸品。軽くスパイスで香り豊か。

エルギンにはバラントインのキーモルト、**ミルトンダフ**もあります。芳醇な味わいが特徴です。

ローゼス地区

グレングラント
グレングラント川は別名「黒い小川」と呼ばれ、多量のピートが溶け込んでいる。この水を仕込みに使用している。

キース地区

グレンファース
バラントインのキーモルトのひとつ。ベリー系とナッツの香ばしさが感じられる。

フォレス地区

ベンマロック 10年
1983年に閉鎖されたが、1998年から再稼働。スペイサイドでは珍しくスモーキーな味わい。

リベット地区

ザ・グレンリベット 12年
密造時代の後の政府公認第1号。柑橘系のアロマと上品な甘み。スムーズでエレガント。

スペイ川中・下流域

マッカラン 10年
「ロールスロイス」と形容される逸品。シェリー樽など3つの樽で熟成され、琥珀色でリッチな味わい。

ダフタウン地区

グレンフィディック 12年・15年
名前は「鹿の谷」。ブレンドが当たり前の時代に、初めてシングルモルトとして市場投入された。12年は洋ナシの爽やかさ。15年は熟成されたフルーツの香。